## 第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規15件の議案が提出され、継続11件と合わせ審議した結果、承認1件、可決14件、同意3件、継続5件、撤回3件となりました。

議案番号	議案名	議 案 の 要 旨	結	i 果
(平成21年) 第113号	国分寺市子どもの権利と未来を守ろう条例について	「児童の権利に関する条約」の理念のもと、子どもの権利を守るとともに未来を担う子どもがい きいきと元気に過ごせるまちの実現を目指し、子育ち支援を推進するため制定する。	7	継続
第 53号	国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について	施行後一定期間が経過後、その状況変化に対応し、まちづくりの基本理念に則した施策の推進を 図るため改正する。	撤回・1	51号で再提案
第113号	平成22年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ398億6,390万3千円と定める。	撤回・1	45号で再提案
第 2号	平成22年度国分寺市土地取得特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ4億6,942万8千円と定める。	可決	全員賛成
第106号	平成22年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ12億2,245万円と定める。	撤回・1	46号で再提案
第107号	平成22年度国分寺市地域バス運行事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ3,438万5千円と定める。	可決	全員賛成
第108号	平成22年度国分寺市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ97億461万6千円と定める。	11	11
第109号	平成22年度国分寺市老人保健(医療)特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1,648万3千円と定める。	11	11
第110号	平成22年度国分寺市介護保険(保険事業勘定)特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ56億9,515万8千円と定める。	11	1/
第111号	平成22年度国分寺市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ19億9,428万5千円と定める。	11	賛成多数
第112号	平成22年度国分寺市下水道事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ42億2,368万1千円と定める。	11	全員賛成
第145号	平成22年度国分寺市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ399億5,463万7千円と定める。	11	賛成多数
第146号	平成22年度国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計予算	- 歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ29億1,405万2千円と定める。	11	11
第147号	専決処分について	行政執行に係る市長の責任を明らかにするため給料を減額する。	承認	全員賛成
第148号	国分寺市職員倫理審査会委員の選任について	国分寺市職員倫理審査会委員の任期満了に伴い、後任に井上寛氏を再任する。	同意	11
第149号	国分寺市職員倫理審査会委員の選任について	国分寺市職員倫理審査会委員の任期満了に伴い、後任に木本洋子氏を選任する。	11	11
第150号	国分寺市職員倫理審査会委員の選任について	国分寺市職員倫理審査会委員の任期満了に伴い、後任に斎藤英彦氏を再任する。	11	11
第151号	国分寺市まちづくり条例の一部を改正する条例について	まちづくりに関する状況の変化への的確な対応及び基本理念に即したまちづくりに関する施策の効果的な推進を図る。	7	継続
第152号	国分寺市湧水・地下水保全条例について	良好な水辺環境を創出する湧水及び地下水を、次世代に引き継ぐべき市民共有の財産として保全する。		"
第153号	国分寺市議会議員及び国分寺市長の選挙における選挙運動の公費 負担に関する条例の一部を改正する条例について	選挙運動費用に係る公費負担の限度額を引き上げる。		"
第154号	国分寺市文化財の保存と活用に関する条例について	市の区域内に存する文化財の保存と活用に関し必要な措置を講ずる。	可決	全員賛成
第155号	国分寺市立歴史公園条例の一部を改正する条例について	都史跡東山道武蔵路の名称を変更する。	11	11
第156号	市道路線の廃止について	当該市道路線は、公共の用に供しておらず、将来にわたり存置する必要がないと認められるため。	11	1/
第157号	指定管理者の指定について	いずみホールの管理業務を平成23年4月1日から平成26年3月31日まで「野村ビルマネジメント株式会社」に行わせる。	11	賛成多数
第158号	東京都市公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び 東京都市公平委員会共同設置規約の変更について	東京都市公平委員会を共同設置する地方公共団体に、立川市を加える。	11	全員賛成
第159号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	平成23年度からの一般職の職員の給与について、東京都に準じた給料表への改定等を行う。	7	継続

賛否の分かれた議案に対する議員の表決状況																								
会 派 名			新政クラブ			サイド				ネット・市				公明党				民・無			共産党			無
議員名	新海栄	須﨑	田中政		皆川りう	森喜	釜我健	亀 倉 順	多良京壱	片畑智	梁川律	星文	木島	高橋りょう子	さの久美子	松長	三葛敦	及川妙	村	中 山 幸	やなぎ孝義	幸理おさ	甲斐よし	いとう太
議案名	_	宏	義	夫	こ	行	_	子	콧	子	子	明	崇	字	子	孝	志	子	徳	子	義	む	ے	郎
議案第145号 平成22年度国分寺市 一般会計予算	0	(議長)	0	0	×	0	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	0
議案第146号 平成22年度国分寺市 国分寺駅北口地区第一種市街地再開 発事業特別会計予算	0		0	0	×	0	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	0
議案第111号 平成22年度国分寺市 後期高齢者医療特別会計予算	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議案第157号 指定管理者の指定に ついて	0		0	0	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	×	×	×	×	×	×	×	0

- ·表 決 (○=賛成 ×=反対)
- ・会派名 (サイド=市民サイド、ネット・市=生活者ネット・市民クラブ、民・無=民主党・無所属クラブ、 共産党=日本共産党国分寺市議団、無=無会派)

# 陳情の審査結果

第4回定例会には陳情7件が提出され、委員会に付託した後、継続審査中の8件と併せて審査し、一部採択・一部審議未了2件、不採択1件、審議未了3件、継続9件となりました。

## 第4回定例会

《一部採択・一部審議未了となった陳情(付託先)》 陳情第22-5号「国に子宮頸がん・ワクチン接種を要望する意見書の提出を求めるとともに子宮頸がん・ワクチンに市の補助を求める陳情」(厚生委員会)

陳情第22-14号「子宮頸がん予防ワクチンへの助成を 求める陳情」(厚生委員会)

《不採択となった陳情(付託先)》

陳情第22-7号「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情」(厚生委員会)

### 《審議未了となった陳情(付託先)》

陳情第22-8号「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

陳情第22-9号「永住外国人への地方参政権付与の法制 化に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員 会) 陳情第22-10号「人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情」(総務委員会)

## 《継続となった陳情(付託先)》

陳情第22-6号「家庭福祉員制度を充実する陳情」(厚 生委員会)

陳情第22-11号「一人ぐらし世帯の安否確認と緊急通報システムの新設・普及を求める陳情」(厚生委員会)

陳情第22-13号「違法性が高い教育委員会委員への月額制報酬支給を日額制に改めることを求める陳情」 (総務委員会)

陳情第22-15号「エックス山北側の下刈り・伐採中止 を求める陳情」(建設環境委員会)

陳情第22-16号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)陳情第22-17号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)陳情第22-18号「エックス山(西恋ヶ窪緑地)北側の下刈り・伐採中止を求める陳情」(建設環境委員会)陳情第22-19号「国分寺市議会傍聴規則の改正に関する陳情」(議会運営委員会)

陳情第22-20号「エックス山北側の樹木伐採の中止を 求める陳情」(建設環境委員会)

## 意見書を可決

下記の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

## 意見書第3号

### 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

政府は平成22年度予算から導入した子ども手当について、全額国庫負担で実施するとの方針を繰り返し表明してきたが、22年度予算では「暫定措置」として地方負担約6,100億円が盛り込まれた。

本来、全額国庫負担が原則だった子ども手当について、原口一博前総務大臣は国会答弁等で、地方負担を23年度以降は継続しないことを明確にしていたにもかかわらず、現政権は来年度以降も地方負担を求めることに前向きの考えを示している。

子育て支援は、地域の実情に応じ地方自治体が創意工夫を発揮できる分野であり、子ども手当のような全国一律の現金給付については国が担当し、全額を負担すべきである。こうした内容について地方との十分な協議もないままに、来年度予算でも地方負担を継続されることに強く反対する。

よって国分寺市議会は、制度を存続させる場合、最低限、現行の地方負担を廃止し、全額国 庫負担で行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書 を提出する。

平成22年12月21日

東京都国分寺市議会